

出穂期早まる！出穂期を確認し、飽水管理を徹底！

【7月30日生育状況】（管内10か所平均、平均田植日5/19）

草丈(cm)		茎数（本/m ² ）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
93	105%（やや長）	389	102%（並み）	13.1	+0.0（並み）	33.4	+0.4（並み）

- 葉 色…穂肥の施用により葉色は回復
- 出穂期…7月30日時点で10か所中4か所が出穂期に到達（平年出穂期8月4日）
田植え時期や圃場条件によりコシヒカリの出穂期の差は非常に大きくなっている。
- 1か月予報（7/30 新潟地方気象台発表）（調査ほの出穂期は7月23日～8月7日頃）
気温は平年に比べて高い確率が70%で、平年に比べ晴れの日が多い見込み。

【今後の管理のポイント】

1 圃場ごとの出穂期を確認

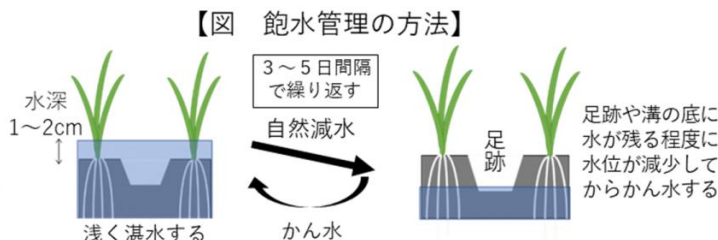
- 出穂期の差が非常に大きいので、穂肥や防除、収穫作業時期を把握するため、圃場ごとの出穂期を確認する。
- 葉色は指標値並みに回復しているが、葉色が薄い場合（SPAD 値で31以下）は、出穂期3日前までに窒素成分1kg/10aをめやすに速効性の化学肥料で追加穂肥を施用する。
また、穂肥施用から数日しか経過しないうちに、7月26日の大雨で水が溢れ出た圃場では、出穂直後であっても葉色が薄い場合は追加穂肥を施用する。
（※ 特栽米等で計画にない追加穂肥や施用量を増やす場合は所定の手続きを行う）



【出穂期】 茎の40～50%が穂した日

2 出穂前後はイネが水を最も必要とする時期 飽水管理を徹底

- 飽水管理により、根の活力を維持するとともに、地温の上昇を抑える。
- 番水やローテーションで用水を有効に利用する。かけ流しは絶対にしない。
- フェーン現象等による異常高温や乾燥が予想される場合には、地域の用水計画に応じて早めの湛水に努める。
- 後期栄養を維持するため、可能な限り出穂期25日後まで飽水管理を継続する。



3 斑点米カメムシ類防除の徹底

- 7月29日に新潟県病害虫防除所から斑点米カメムシ類の注意報が発出された。
畦畔・農道、及び水田内の除草を徹底し、薬剤防除は各薬剤に応じて適期に行う。

農作業中の熱中症に注意しましょう。こまめな水分と塩分の補給や休憩が大切です。